

# 平成25年度 奈良県スポーツ推進審議会 第1回定例会

日時：平成25年10月21日（月）10：30～12：00

場所：奈良商工会議所地下1階 A・B会議室

## 1 開会

(司会)

ただいまから、平成25年度 奈良県スポーツ推進審議会第1回定例会を開催いたします。今回の審議会より、奈良県議会文教くらし委員長が、藤野良次議員から高柳忠夫議員に変更となっていますので、ご紹介申し上げます。

(高柳委員)

奈良県議会文教くらし委員長、高柳でございます。よろしくお願いいたします。

(司会)

また、本日ご欠席ですが、町村長会代表が、岡下守正大淀町長から角喜一郎野迫川村村長に変更となっています。

次に今回佐久間会長、朝原委員、笠次委員、辰野委員、細川委員につきましては、所用のため欠席させていただいております。

なお、荒井知事につきましても、所要のため欠席させていただいております。

本日ご出席の委員の皆様及び事務局については、お手元の座席表に記載のとおりでございますので、あらためてのご紹介は割愛させていただきます。

議事に入ります前に、本日の会議資料の確認をお願いいたします。

－資料確認－

また、本会議は奈良県「審議会等の会議の公開に関する指針」によりまして公開となっております。報道関係の取材及び傍聴をお受けする形で開催します。本会議後は、議事録も県のホームページに掲載し公開する予定です。従いまして、テープおこしを行いますので、ご面倒ではございますが、ご発言につきましてはマイクを使用させていただきますよう、よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、奈良県くらし創造部長の影山清よりご挨拶申し上げます。

(部長)

おはようございます。くらし創造部長の影山でございます。本日は、知事が他の公務と重なっておりまして、出席できず大変申し訳ありません。代わりまして私のほうから、審議会開催にあたっての謝辞とごあい

さつを申し上げます。

委員の皆さまにおかれましてはご多忙中にもかかわらず、本審議会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。昨年、ご審議いただきました奈良県スポーツ推進計画が平成25年3月に策定され、現在この計画に基づいた様々な施策を展開しているところです。審議会に先立ちまして、委員の皆さまに改めて御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

「いつでも、どこでも、だれでもスポーツに親しめる環境づくり」を基本にご提言をいただきました方針に添いまして、各種の事業を進めています。今年度につきましては、総合型地域スポーツクラブの増加あるいは支援、新たなスポーツイベントの実施、プロスポーツの観戦、子ども達とアスリートとのふれあいに係る教室開催など、各種の事業を実施しています。これらにつきましては、今回の審議会に先立ち、委員の皆さまにご説明させていただいたところです。

本日は平成26年度に向けた取り組みにつきまして、継続して続けていきたい事業、あるいは新しく進めていきたい事業の概要などご説明させていただき、ご意見を賜りたく考えております。

県では、今まさに、来年度の予算編成の時期にさしかかっているところです。本日いただいた意見を参考にいたしまして、来年度の事業構成などに反映をさせていただこうと考えております。どうぞご意見、ご示唆と賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(司会)

それでは、これより議事に入りますので、以後の写真撮影及びテレビカメラによる取材はご遠慮いただきます。報道機関の皆様、ご協力よろしく申し上げます。

なお、議事の進行は、根木副会長にお願いいたします。根木副会長、よろしく申し上げます。

(根木副会長あいさつ)

皆さん、おはようございます。佐久間会長不在のため、本日は議長を務めさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。

私はアスリート代表で審議会に加わっていきまして、9月7日に2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、これほど嬉しいことはありません。人生の中で、オリンピックを経験できる機会は少ないので、当然、この流れにのって、奈良県のスポーツ振興を進めていきたいと考えています。この観点からも、今回、この審議会の機会を持たたのは、大変素晴らしいことだと思います。

さて、議事録署名人については、福井委員と泉谷委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは、お手元の資料についてのご説明を事務局より申し上げます。

## 2 議事

根木副会長： 事務局からの説明に基づきまして、各委員からご意見をいただきたいと思ひます。現行の事業の修正点と、新たに追加した事業等について伺いたいと思ひます。

それではまず私から、奈良県のスポーツ推進計画は良くできた計画だと思ひます。これに基づいて、奈良県のスポーツを推進していければ、奈良県は良くなると思ひます。

事務局からの説明を聞いて、奈良県はすごく多くの事業をできていると思ひます。昨年から進めて新たにできたものも多いと思ひます。

今年度、橿原公苑で開催した「バトンをつなげ！陸上リレー夏祭り in 橿原公苑」について、参加された方から聞いた意見では、大変好評であったということです。短距離のリレーだけのイベントは例も少なく、アスリートチームを招いて実施すれば、奈良の目玉になるのではないかと考えています。

障害者カヌーは、パラリンピックの正式種目になるので、この流れに乗って、今後も推進していければありがたいと思ひます。

奈良県初のプロバスケットボールのバンビシャス奈良の公式戦が先日、橿原公苑で開催されました。バスケの競技者として新たにこのような試合が開催されたことに、大変感動しました。正直、奈良県民は、まだ観戦自体ををどうすればよいか分からなく、総じておとなしい応援だったので、これからどのように盛り上がっていくか、どのように変化していくかが楽しみです。

このように、トップアスリートを観る機会が増えれば、子どもなどがスポーツへのあこがれを持ち、また、スポーツを行うきっかけづくりとなるので、大変有用だと思ひます。

稗田委員： 東京オリンピックに向けて、トップアスリート育成事業は必要な事業だと思ひます。新たにトップアスリートの育成検討会を設置するとされていますが、具体的にはどのようなイメージか教えていただきたいです。

また、「まってる！花園事業」は、面白く、楽しみな事業です。ラグビーのワールドカップが開催されることもあり、花園がラグビーの競技者のメッカになればよいと思ひます。ラグビー愛好家の目を奈良県に向けるところまでいければすばらしいと思ひます。

事務局： 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、本県のスポーツの気運を盛り上げていきたいと考えております。奈良県には有望な選手も存在しますので、地域におけ

るアスリート育成について、どのような支援ができるのか検討し、取り組んでいきたいと考え、検討会を立ち上げることにしました。

トップアスリートは、地域により育てられて、育成されていくものだと考えます。その過程の中で、地域がどのように関わっていけるのかを検討してまいりたいと考えています。

本年度より、県にゆかりのあるトップアスリートヘインタビューを実施し意見を聴取するなどして、それを元に今後の支援の内容等について検討していく所存です。

次に、まってる花園事業についてですが、この事業は本年度で4回目です。花園で行われる高校全国大会に出場しない控えのチーム等を集めて行っています。県のラグビー協会・高校等と協力して、会場（榎原公苑）、審判、ドクターの提供をさせていただいております。2019年ラグビーワールドカップのキャンプ地や練習地として奈良を選択してもらえよう、競技団体とも協力して取り組んでまいりたいです。

根木副会長： トップアスリート育成事業について、ナショナルトレーニングセンターのタレント発掘事業が参考になるのではと思います。

南委員： 新しい市長の選挙公約のなかにも、他の市町村にない特色をもっとアピールしていきたいとあります。天理では、野球・柔道・ホッケーなど国内で活躍されている方が大勢いまして、先日も天理中学のラグビーが全国トップクラスという報道もありました。今後も、何らかのかたちで関わっていければと思います。

トップアスリート育成のための検討会の開催について、天理市は非常に優れた実績を持つ方が多くいらっしゃいます。トップアスリート育成のための検討会を開催するならば、天理市もしっかりと協力していきたいです。

泉本委員： 地域トレーニングセンター機能構築事業はトップアスリート育成検討会にも関わってくると思います。地域トレーニングセンター機能構築事業の進行状況を教えていただきたいです。

事務局： 地域トレーニングセンター機能構築事業については、スポーツ科学によるサポート体制・競技力の強化、スポーツ合宿による県外からの誘客、指導者の養成、ジュニアのタレント発掘、県民の健康づくりを目的とした地域トレーニングセンターが整備できないか検討していたところではありますが、まだ具体的な絵は描けていません。

一方で東京オリンピック開催にあたって、トップアスリート育成に力をいれていかなければならないと考えていまして、今後はトップアスリート育成検討会で議論を重ね、その延長線上に地域トレーニングセンターの整備を考えていきたいです。

高柳委員 : ハンドボール競技のようにトップといえずとも県の特徴といえる競技の育成も重要だと思います。

トップアスリート育成はスポーツ推進のひとつの柱ではありますが、一番重要なのは、「だれもが、いつでも、どこで運動・スポーツを楽しむことができる環境づくり」という視点ですので、その意味で障害者を対象にした事業を全国に先駆けて力を入れて考えていただきたいです。

事務局 : スポーツ推進計画の基本は「だれもが、いつでも、どこで運動・スポーツを楽しむことができる環境づくり」です。

本年度障害者を対象とした事業について、障害者の方を対象とした野球教室・カヌー教室を行いました。今後も障害の有無に関わらずスポーツができる環境づくりを行ってまいります。

根木副会長 : スポーツ推進計画の基本目標である「だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツを楽しむことができる環境づくり」の、「だれもが」については、障害者も含まれることについて、計画の策定時から主張してきました。その結果、障害者のスポーツの推進として計画にも位置づけられており、大変嬉しく感じています。今後も、障害者と健常者が一緒にスポーツを楽しめるような環境づくりを目指して、施策を推進していただければ、ありがたいです。

牧川委員 : スポーツ推進計画は、大変すばらしい計画だと思います。これに基づいて、しっかり奈良県のスポーツを推進していただきたいと思います。唯一、事業数の多さが気になります。民間の団体や組織を活用し、さらに連携して進めていただきたいと思います。スポーツ推進の手法を考える際に、三つの視点が必要です。一つは、「忙しい、働く世代の人々にスポーツを行わせるためのアプローチ」、次に「高齢者や定年退職後のように時間を有している人々へのアプローチ」、最後に「子どもたちへのアプローチ」です。

忙しい、働く世代へのアプローチは、地域で生活することで、意識せずに身体活動が満たされ、健康になっていくという「健康都市」の考え方が必要であり、歩きやすい道路や通学・通勤のためのサイクリングロードの整備等も必要になってきます。次に時間のある人々へは、総合型地域スポーツクラブへの加入促進が必要であり、スポーツを通じてのコミュニティづくりを推進していくことが重要だと思います。最後に子どもへのアプローチは、運動部活動の積極的な推進が必要だと思います。その際、競技力の向上に偏らず、多様な形態（活動種目や活動内容や頻度等）の運動部を考える必要があると思います。

スポーツ環境の整備で、身近な公共施設の整備を進められる

ことは素晴らしいことです。観るスポーツを楽しむような大きなスポーツ施設も重要ですが、同時に、身近な（公園など）、できる所から取り組むという視点も必要です。計画の中に、高齢者のスポーツ振興に「ラジオ体操による健康づくり」があがっていますが、素晴らしい視点だと思います。ラジオ体操の音楽を聴けば、自然と身体が動くという人も多く、また、どこでもできます。このように、身近なことを利用して運動やスポーツを振興し、活動的にしていくという考え方が非常に良いと思います。

川崎委員： 奈良県スポーツ推進計画は、素晴らしいものができたと考えています。

大型のスポーツ施設の整備は重要だと思います。サッカー（奈良クラブ）で結局、J3に加盟できなかったのは、鴻ノ池陸上競技場がJリーグの規格に合わなかったためだと伺っています。それを受け、既存のスポーツ施設の改修は確かに重要で必要ですが、それだけでは足りないと感じました。やはり大規模施設は必要です。しっかりと「新たなスポーツ施設の検討事業」について、進めて行って欲しいです。

事務局： 新たなスポーツ施設の検討事業について、将来の具体的な事業の展開に備えて計画は作成しておくべきだと考えています。県民の皆様「観戦」というスポーツの楽しみ方を知っていたくためにも大規模施設は必要と考えています。

大規模施設の整備について、現在スイムピア奈良、明日香庭球場の整備が進行しています。

根木副会長： 大規模スポーツ施設の整備も重要です。バスケットボールを行う体育館についても、奈良県内には空調設備を持ったものが少ないのが現状です。暑い時期に空調なしでスポーツを行うことが難しくなっていることを考えれば、このような状況の改善も必要だと思います。

ナショナルトレーニングセンターの計画も随分前から構想としてあり、その段階から図面を作成するなど細やかに計画を練っており、タイミングがあつてすんなりとできたと聞いていますので、同様に計画の用意は必要だと思います。

福井委員： 県民交流リレーマラソンの進行具合をお伺いしたいです。

地域でトップアスリートを育成していこうとすることは重要だと思います。奈良県で有望な選手が出てきている現状もあります。県としてトップアスリート育成のための検討会を開催するということなので、総合型地域スポーツクラブもこれに協力し、地域におけるトップアスリート育成を図っていきたいです。

ここ数年来、奈良県のスポーツ振興が進んできていることに関して、県民の1人として大変ありがたく感じています。今後

も行政・地域が協力して、奈良県のスポーツ推進を図っていききたいです。

- 事務局 : 県民交流マラソンは市町村対抗子ども駅伝の翌週に橿原公苑で開催することを決定しております。走るだけではなく様々なイベントを織り交ぜて、1日中楽しめるような大会にしたいと考えてます。しばらくすれば、全体の青写真が出ると思います。
- 横山委員 : スポーツ推進計画は、非常にオーソドックスな計画で、県の特色が出ていると感じました。  
県のトップアスリートの育成、競技力向上について、全ての種目をおしなべて育成していくのか、それとも一定の種目に特化して強化していくのか、どのように判断していくかが重要です。
- 事務局 : 奈良県で全国レベル活躍しているのは、自転車競技、ソフトテニス、ホッケー、馬術、ボクシング等です。トップアスリート育成事業はトップになるまで支援するというものではなく、あくまで地域でどういった応援ができるかというものです。まだ具体的な方針はないものの、競技の選択も踏まえてどのようなサポートが可能か考えていきたいです。
- 横山委員 : 競技スポーツについては、一番にならないければ意味がないです。財源等が無尽蔵にあればいろいろな種目への強化ができますが、そうでない現状を踏まえると、ある一定の種目に特化・差別化して強化していくという判断も必要です。  
集団スポーツでトップになるためには、今後、学校部活動に頼るのは困難です。これはJリーグが発足してはじめて、サッカーがアジアトップになったのをみても顕著です。このことから、スポーツの中心を、学校部活動から総合型地域スポーツクラブに徐々に移行して、育成していくことが必要です。ヨーロッパのクラブのようなシステムになるのが理想だと考えます。  
障害者スポーツに力を入れていくのも、多くの種目の中から、種目を差別化して強化する判断の一つだと思います。障害者スポーツを特化して強化すれば、7年後には奈良県にすごく強いチームができるのではないかと思います。
- 事務局 : 競技スポーツと生涯スポーツの関係について、どちらか一方に力を入れるのではなく連動して考えていきたいです。頂点を高めることが底辺を広げることに繋がると考えます。奈良の特色を活かしてバランス良くやっていきたいです。
- 根木副会長 : トップアスリート育成事業について、奈良県スポーツ賞などを制定し、優秀な競技者を表彰していくのも、立派なスポーツ振興と考えます。このような賞で表彰されれば、アスリートのモチベーションが高まると思います。
- 南委員 : トップアスリート育成事業は大いにやっていただきたいです

ね。天理は柔道等でトップアスリートを多く輩出している一方で、高齢者に人気のグランドゴルフも盛んです。

横山委員： スポーツ振興課は、スポーツ振興のため多くの事業、しかも、多くの部局を跨がった事業を実施しています。どうしても、行政は縦割りとなりがちなので、横串を入れるような、統一的な部署等をつくることの検討も必要ではないかと考えます。

牧川委員： 地域で行うイベントの振興、そして、それをスポーツツーリズムにつなげて実施していくことが理想です。奈良の豊かな地勢その他の環境を活かして行って欲しいです。現在、サイクリングを重点化しているが、そのほか、トレイルランニング等も良いのではないかと思います。県外からの集客という観点では、外国のような遠方ではなく近畿圏をターゲットに考えてはどうでしょうか。

事務局： 歩く、走る、自転車に加え、新たに「カヌー」を奈良県ならではのスポーツ競技にできないかと考えています。南部東部地域で地勢、環境を活かしたスポーツイベントを行い地域振興に繋げていきたいです。また、スポーツ合宿も今後視野に入れていきたいです。

福井委員： 今後県民リレーマラソンが開催され、徐々にでも拡大されていくとありがたいです。

根木副会長： まとめとして、トップアスリート育成事業については2020年に向け今後も議論される必要があると思います。生涯スポーツに関しては、今後ますます「だれもが」運動・スポーツできる環境づくりが重要になってくると思います。大型スポーツ施設整備事業の計画については引き続きやっていただきたいです。奈良県の強みをより考え、それを活かしたスポーツイベント、競技をやっていただき全国に奈良県を発信していただきたいです。

それでは、その他の事項の部分について事務局よりお願いします。

－事務局説明－

根木副会長： 皆様、よろしいでしょうか。

無いようでございますので、本日の審議会は、これを持ちまして、終了させていただきます。皆様のご協力により、大変有意義な会議となりましたこと、また、スムーズな運営ができましたことを、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。事務局にお返しします。

### 3 閉会 (司会)



根木副会長、ありがとうございました。委員の皆様ありがとうございました。以上をもちまして、平成25年度奈良県スポーツ推進審議会第1回定例会を終了いたします。本日は、ありがとうございました。

以上